

平成27年度 大分県学力定着状況調査結果（中学校：英語）

1 結果のポイント

全問題数：35問（知識25問、活用10問）

- ・偏差値 48.8（知識 48.9 活用 48.9）で、昨年度 49.4 から 0.6 ポイント下降した。
- ・「読むこと」「書くこと」「聞くこと」のすべての領域において、目標値を下回った。
- ・今回の調査においては、リスニング、読解、語形・語法・語彙の知識・理解に課題のあることが見て取れる。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項（領域別）

(1) 「聞くこと」

選択形式のリスニング問題9問中、目標値を上回ったのは4問で、「聞くこと」に関する外国語理解の能力に課題があることがわかる。

具体的には、How did you come to school?と手段を問われて、I walked. を選ぶ問題の正答率が大幅に低かった。生徒はおそらく、By bike.などを予測していたのだろうが、聞き取る英文中の表現から予想されるものと別の表現が設問で使われている場合は、両者を関連づけることが難しい。また、お礼を言われた後の応答や、「だれか」とたずねられて適切に応答する基本的問題も正答率が低い。英文の要点や流れ、情報を正確に聞き取る力が身に付いていない。



◎語句や文の表面的な聞き取りだけに終わらせず、聞き取った内容の概要や要点を自分の言葉で言い換えながら話したり書いたりするアウトプット活動を取り入れることや、会話の要点や流れ（だれが、どの立場で、どのような意図で、何を話したか）をとらえる力をつけていく。

◎キーワードや要点を聞き取り、それをつないで話のアウトラインを作る活動を行う。

◎教師の授業中の英語の使用率を上げる。

◎設問に焦点をあて、メモを取りながら聞く練習をする。

領域別正答率

領域	正答率	目標値
	国東市	
聞くこと	64.1	70.0
読むこと	54.9	60.4
書くこと	51.8	55.0

(2) 「読むこと」

対話の流れとグラフから英文の空所に適切な人数を入れたり、登場人物の適切な発言を判断するなどのさまざまな英文の読み取りや長文の読み取りに課題がある。海外の友人からもらった e-mail についての内容理解などに関する設問のうち、4 問中 3 問が目標値に達していない。

英文の概要を理解すること、英文中から必要な情報を探し出すこと、まとまった量の英文の要点を理解することに課題がある。



- ◎学習者のレベルにあった文章をたくさん読む活動を行う。
- ◎授業の中で、手がかりとなる語句や表現をヒントとして与えたり、事前に内容を尋ねる質問をするなどして、書き手の伝えようとすることを正確に読み取るスキルを身につけさせていく。
- ◎読む目的（英文の概要を理解する、英文中から必要な情報を引き出すなど）を明確にし、それに沿って多様な英文を主体的に読む活動を行う。

(3) 「書くこと」

現在進行形の疑問文や疑問詞で始まる疑問文について基本的な語法の理解が不足しているなど語形・語法の定着状況に課題がある。単語の並べ替えによる英作文では命令文と依頼する文が目標値を下回っている。場面に応じて書く英作文では、現在進行形を用いて自分のしていることを説明する問題が目標値を下回っている。



- ◎聞いたり読んだりした内容について、話したり、書いたりするなど、「聞く」「読む」「話す」「書く」の 4 技能を組み合わせた統合的な言語活動を行う。
- ◎単元を貫く言語活動を積極的に取り入れ、各課の終末に必ず与えられたテーマに対する自分の意見やその理由を書くようにし、書く活動を増やす。
- ◎生徒が聞いたり読んだりした内容に主体的に関わりをもち、それを踏まえて自分の感想、内容に対しての賛否やその理由を書くことなどが求められている。

問題内容別正答率

問題の内容	正答率		目標値
	国東市	大分県	
リスニング（内容理解）	75.0	77.1	78.3
リスニング（対話文の応答）	47.7	52.8	57.5
語形・語法の知識・理解	52.1	54.4	58.8
語彙の知識・理解	46.5	51.2	57.5
さまざまな英文の読み取り	59.6	64.2	63.8
長文の読み取り	52.9	53.7	58.8
単語の並べかえによる英作文	54.1	54.5	55.0
場面に応じて書く英作文	39.3	35.9	37.5
3文以上の英作文	64.3	67.3	63.3

3 指導の改善のポイント（全体を通して）

(1) 基礎的・基本的な事項を確実に定着させるための指導の工夫をする。

- 学習した語彙や表現を定着させるために、繰り返し使う機会を設けたり、定期的に振り返ったりするなどのスパイラル学習を行う。
- 教え込むのではなく、生徒の気づきを大切にする。
- 生徒の実態を把握し、個に応じた支援を充実する。
- 教科書の英文だけでなく、学習者のレベルに合った多様な英文や問題に触れさせる。

(2) 単元目標を達成するための言語活動を仕組む。

- 生徒の興味・関心、ねらいに応じた題材の設定や学習者中心の活動の展開を工夫し、生徒が英語に触れる（使う）機会を充実する。（ALT との連携）
- 4技能を総合的に育成する指導を充実する。授業の中で必ず書く活動を位置づけることで、技能統合的な活動になる。（英文を書く活動については、学期に一度多くの時間をとるよりも、毎時間少しずつ行うほうが効果的である。）

(3) 付きたい力を明らかにして指導と評価を行う。

- 付きたい力を明確にした単元目標を設定し、生徒と目標を共有する。
- ねらいを達成するための指導内容や評価の方法を工夫する。
- 各授業・各単元終了後の振り返りを大事にし、生徒の知識・技能の習得状況や活用状況を確認して、必要に応じて補充指導・個別指導をする。

(4) 実際に言語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を展開する。

- 失敗を恐れずに、積極的に英語を使おうとする態度を育成する。
- 「相手意識」「目的意識」のあるメッセージの受信・発信となるような活動を仕組む。
- 教科書の内容理解の後の発展的な活動を充実させ、学習者が本当に言いたいこと・書きたいことを英語で表現・発表する機会を設け、学習意欲を喚起する。

【参考】

観点別正答率

問題の内容	正答率	目標値
	国東市計	
外国語表現の能力	50.2	50.9
外国語理解の能力	60.6	66.1
言語や文化についての知識・理解	50.9	57.1

「英語好きですか?」・「英語の勉強がわかりますか?」

	平成25年			平成26年			平成27年		
	国東市	大分県	全国	国東市	大分県	全国	国東市	大分県	全国
英語の勉強が好き	45.5	53.1	55.9	53.0	53.7	55.9	54.1	56.9	55.9
英語の勉強がわかる	47.1	55.3	59.9	47.9	57.0	59.9	52.3	59.9	59.9